

2021年10月18日

関東自動車株式会社

## 当社路線バスが中扉を開けた状態で走行した事象について（お詫び）

この度、当社の路線バスが中扉を開けた状態で走行した事象が発生いたしました。

当該路線バスにご乗車されたお客様をはじめ、当社ご利用のお客様、関係する皆様に多大なご迷惑とご心配をおかけしましたことを深くお詫び申し上げます。

当社といたしましては、今般の事態を厳粛に受け止め、乗務員に対して発車時の安全確認の徹底及び保安装置の緊急点検を実施し、再発防止に向けて全力を挙げて取り組み、信頼回復に努めてまいります。

本件については関係当局に報告を行っております。詳細は下記のとおりです。

### 記

#### 1. 発生日時

2021年10月16日（土） 7時24分頃

#### 2. 当該路線バス

釜井台団地 7時24分発 JR宇都宮駅経由 宝木団地行き 乗車人数1名

#### 3. 発生場所

釜井台団地バス停～釜井台団地南バス停間

#### 4. 状況

7時24分、釜井台団地始発バス停を発車する際、乗車口扉（中扉）が開いている状態で発車させ、次の停留所まで約200mを走行してしまった。

#### 5. 原因

始発停留所であったため乗車口扉を開いたまま乗車客を待つために待機し、発車する際に乗車口扉を閉める操作を行わないまま発車してしまった。

通常は乗車口扉が開いているとアクセルインターロックの作動により発車できないが、当該車両はその時点では不具合によりアクセルインターロックが作動しなかった。

#### 6. 再発防止策

今般の事態を厳粛に受け止め、全運転士に対し発車時における扉操作及び確認の基本動作の徹底を図ります。

当該車両のアクセルインターロックが正常に作動する状態にするとともに、全車両の保安装置（アクセルインターロック、光電管リレー、扉開閉表示灯）について緊急点検を行います。

以上